平成26年2月1日発行（毎月1回1日発行）昭和43年1月18日第3種郵便物認可　通巻687号

# 国際開発ジャーナル

International Development Journal

国際協力の
最前線をリポートする

FEBRUARY 2014
No.687
2

http://www.idj.co.jp

特集

## 省エネ対策、待ったなし

### 世界に応える日本の技術

IDJ REPORT 地産地消のモノづくり工房

援助改革最前線
エリック・ソールハイム DAC議長インタビュー

日・ASEAN特別首脳会議に寄せて
レー・ルオン・ミン ASEAN事務総長＜寄稿＞

# 継続的に支援してきた地下水開発

新しい給水施設に沸く村人

井戸掘削工事

鉄分除去装置付ハンドポンプ給水施設

## [ザンビア]
## 第2次ルアプラ州地下水開発計画

コンサルティング：日本テクノ(株)
施　設　建　設：(株)日さく

ザンビアにおける５歳未満の乳幼児死亡率は、出生1,000人あたり148人（2008年WHO統計)と、世界平均の２倍に達する。これは、不衛生な飲料水が主な原因だと言われている。

日本はザンビアに対し、1985年に初めて無償資金協力で井戸の掘削支援を実施して以来、長年にわたり給水率の改善に協力してきた。しかし、同国で安全な飲料水にアクセスできる人口の割合は、07年になっても、地方部で32％と低い水準にとどまっており、ミレニアム開発目標(MDGs）が掲げる75％という目標からはほど遠い状態であった。

本事業では、同国の中で給水率が17％と最も低いルアプラ州において、ハンドポンプ付きの深井戸が216本新設された。10年に竣工した第１次計画で整備された200本の井戸と今回の第２次計画によって、同州の給水率は25.6％まで向上。MDGsの達成に向け、さらに「第３次」の協力についても準備が進んでいる。

日本がこれまでに整備した給水施設は、８割以上という高い稼動率を誇っている（04年JICA調査）。施工や施設監理の指導に携わってきた技術者たちの努力の賜物だと言えよう。